

まごいち香墨の静響のてっマス  
ごんじおひなる各響さ代室合社

台湾・蘭嶼島の低レベル放射性廃棄物貯蔵施設（全国廃核行動プラットフォーム提供・共同）



だが李経済部長は「核廃棄物の処理は簡単ではない。子孫にそのような問題を残してはならない」と脱原発の意義を強調する。原発の使用済み核燃料から出る高レベル放射性廃棄物（核のごみ）の最終処分地選びは、各国が頭を悩ませる難問だ。日本は地下深くに埋める計画だが、候補地は決まっていない。火山や活断層がある地域は選びにくいという制約もある。台湾も日本と同様、プレ

ート境界に立地し、地震が多いため、地層処分を選ぶのと似たような問題に直面する可能性がある。第1、2原発の使用済み核燃料プールのほぼ満杯で、第3原発も半分以上埋まっている。汚染された工具や作業服などの低レベル放射性廃棄物は、台湾本島の南東沖にある離島・蘭嶼島の貯蔵施設で一時保管されている。蘭嶼島に暮らす先住の海

◆ 離島で保管

洋民族タオ族のシナン・マヴィヴォさん(43)によると、廃棄物が詰まったドラム缶は1982年から定期的に島に運び込まれるようになった。「魚の缶詰工場を建設する」。台湾電力は貯蔵施設の建設時にタオ族にうその説明をしたという。事実を知った住民は96年に大規模な搬入阻止行動に打って出た。

「父と祖父も行動に参加した。魚の皮で作った伝統的な戦闘服を着て長やりを持って家を出て行った」。マヴィヴォさんにはそんな記憶が残っている。

台湾行政院（内閣）の原子力委員会は今年2月、島内の廃棄物を3年以内に移転先を決めて8年以内に島外搬出するよう政府に勧告した。だがマヴィヴォさんは信じていない。「引き受けてに賛同する自治体はない。行き詰まって先には進めないはずだ」。日本も同様の問題を抱えるが、原発回帰が進んでいる。

(台北共同)

日曜  
 くる期来中製響のてっマス。まろじ式り/式め対るま頃敷るま以瑞用各響、  
 /うち式>せは声はこごも>式か/アじ各響へちおんち香墨  
 >巻返こコ風感事会当々商使用計取のは同、以瑞用各響大/式大/人請こ、  
 /うち式  
 (木)日25月2:(英)大二第 (土)日15月4:大一第 日曜  
 じ出展へ具備認認者、具備認認者じ画を員通介請じ各響大/式大/サ寄は、  
 /うち式>務事こコ風感事会当々商使の瑞用各響、  
 式が合開る下開コ神のこ  
 具備認認者事会認認認認認認  
 (か)音:岩張  
 TEL: 022-265-1667  
 FAX: 022-265-0516  
 E-mail: miyagi-hok@doc-net.or.jp